



花小金井南中学校
コミュニティ・スクール通信

まほろば

「素晴らしい場所」となりますように

No. 4

令和4年 9月22日 発行
小平市立花小金井南中学校
学校経営協議会
会長 眞部 弘



<https://www.kodaira.ed.jp/38kodaira/>

第5回学校経営協議会開催にあたり

学校経営協議会 会長 眞部 弘

本日は、午前中は学校公開が行われました。多くの保護者の方が来校していました。後ほど本日の学校公開にお越しいただいた委員の方からは、感想や意見をいただきたいと思います。また、これまで毎回学校情報を提供し、分科会でも学校側の代表として参加していた事務局の先生4名が、部活動の大会引率などがあり、参加できないということを聞きました。そこで本日の学校情報は、各学年と特別支援学級の主任の先生に参加していただき、学年の様子や今後の取組などについて話をさせていただくことになりました。どうぞお楽しみに。

I 第5回学校経営協議会 報告

- | | |
|----------------------|-------------|
| (1) 校長あいさつ | (4) 学校公開の感想 |
| (2) 本日の流れの確認 | (5) 分科会 |
| (3) 学校情報について | ① 地域防災 |
| ① 学校全般について（校長） | ② 学習支援 |
| ② 1学年より（室屋浩史主任教諭） | ③ 生徒・地域支援 |
| ③ 2学年より（草場有希子主任教諭） | (6) 連絡事項 |
| ④ 3学年より（篠原圭主任教諭） | (7) 副会長より |
| ⑤ 特別支援学級7組より（岩崎智壮教諭） | |
| ⑥ その他（飛永副校長） | |



(1) 校長あいさつ (3) ①学校全般について

2学期に入り2週間が経過しました。1学期と大きな変化もなく、生徒はとてもよくがんばっている。7月から8月後半にかけて、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増え、東京都では1日35,000人を越える日もありました。そこから少しずつ減少傾向となり、2学期を迎えることになりましたが、新規感染者数の減少が報道される中、生徒やそのご家庭の感染者数はむしろ増加傾向にあるような気がしている。連日10名前後の生徒の感染や濃厚接触の連絡が入っており、近隣の学校では学級閉鎖も起きている。今後本日の学校公開のように、必要最低限の制限はつけることが必要ではあるが、できるだけ計画した行事などは実施する方向で進めていきたい。2学期は大きな行事として合唱コンクールを計画している。一昨年中止、昨年は学年開催で無観客という2年間を経て、今年は、全学年で実施し、保護者の参観については学年での入替制を考えている。今後の感染状況によって変更することも考えられるが、まずは校内での練習で感染拡大を起こさないことが大切である。十分に気を付けて準備を進めたい。

(3) 学校情報について

② 1学年より（1学年主任 室屋浩史主任教諭）

入学時から振り返ってみて、生徒たちは中学校生活に対してよくがんばっていた。1学期は運動会、川越校外学習という2つの大きな行事に取り組んできたが、生徒たちが成功させたと感じている。夏休みを経て少し疲れているような様子も見られる。それでもみんなで乗り越えようという雰囲気がある。2学期になり、学習面でも学習内容が難しくなることや、2回の定期テストがある。また、初めての合唱コンクールに向けて、1学期の運動会や校外学習と同様に自分たちの力で創りあげたい、成功させたいという思いが伝わってきている。学年の教員もそのような思いを全力でサポートしていきたい。

③ 2学年より（2学年担当 進路指導主任 草場有希子主任教諭）

夏休み明けの生徒の様子を見ていると、生徒それぞれペースが違っていて、すぐに1学期のように生活できる生徒もいれば、ペースが戻らずに少しお休みをしながら慣れていくような生徒もいる。また、気が付けば中間テストまであと2週間を切っており、生徒は、気持ち（いやだなー）を周囲の友人と共有しながらがんばっている。部活動はこの夏で3年生から2年生に代が替わり、先日の生徒会選挙でも2年生と1年生が新たな生徒会役員として選ばれた。いよいよ学校の中心という自覚が芽生えてきている。今後合唱コンクールの練習が始まるが、そこでも中心学年としてがんばってほしい。

進路指導主任として、学校全体の進路指導は、自分がどう生きていくのかということを考えさせることを大切にしながら、それぞれの学年で生徒の発達段階に沿った取組を行っている。また、卒業後の進路関係については、情報発信を積極的に行っていく。

④ 3学年より（3学年主任 篠原圭主任教諭）

160名4クラスでスタートした3学年。とても落ち着いており、これまでの2年間も含めて大きなトラブルなどで生徒を指導する場面はほとんどなく、とても明るく仲のよい学年となっている。7月には中学校生活で初めての宿泊行事となる修学旅行を実施することができた。生徒が自分たちで決めたルールをしっかりと守り、とても思い出に残る修学旅行となった。現在生徒が事後学習で作成した修学旅行個人アルバムを調理室に展示している。ぜひ見てほしい。2学期となり、自分の進路に向けて意識が高まっている。また、合唱コンクールでは、3年生として自分たちの力を発揮して後輩たちに示そうとがんばっている。進路関係では、例年生徒の面接練習は校長や副校長を中心として主幹教諭などが面接官となり実施しているが、今年度は、地域の方に声をかけて普段学校にはいない、一般の会社などでお仕事をされている方に面接官をおねがいして、面接指導をすることを考えている。

⑤ 特別支援学級7組より（7組学級主任 岩崎智壮教諭）

本校の特別支援学級は知的障がいの学級となっている。それぞれの生徒の自立や就労を目指し、異学年集団で日々の生活や学習を行っている。7組の3年生は、この3年間で大きく成長をした。1年生の時には想像ができないほど、生徒により個人差はあるものの、できることが格段に増え、集団の中で生活する上では、後輩に見本を見せるようになってきている。2学期には、9月末に宿泊行事を予定している。また、この2年間は校内で実施していたマラソン大会は、3年ぶりに多摩地区の中学校が集まる形で実施することになり、10月に昭和記念公園で行われる。マラソン大会に向けて日々長距離を走る練習を体育の授業で行っている。また、合唱コンクールでは、例年太鼓の演技を披露している。今年も4月から練習を重ねてきている太鼓を全校生徒、保護者の前で発表することを楽しみにしている。進路関係では、上級学校の高等部の体験や説明会がすでに行われており、2学期のうちに受験がスタートする。

⑥ その他（飛永副校長）

本日無事に土曜授業学校公開を実施することができた。多くの保護者の方が参観し、生徒の様子を見てもらうことができて良かった。また、本日9時30分よりPTA運営委員会を実施した。対面の形で実施するのは、コロナ禍以来となるが、多くの役員の方に参加していただき、夏休みのお祭りのパトロールやボランティア活動などの報告がされていた。今後については、10月5日の学校公開（道徳授業地区公開講座）、そして何より、10月19日の合唱コンクールはせめて3年生の保護者だけでも見るようにしてほしいという意見が出されていた。

4月から入学する生徒の女子の標準服について、スラックスを選択できるようになる。これは、昨年度の学校評価アンケートの中で保護者の方からご意見をいただいたことを受けて、検討しこのような対応となった。新2、3年生の女子についても新規でスラックスを購入していただければ標準服として着用することができます。

施設面では、普通教室化の工事は順調に進んでいる。また、技術室が1階から3階に引越し、女子の更衣室が反対に3階から1階に移動した。新テニスコートで、一部が陥没して修繕をしていたが、雨天時の水たまりの排水工事と共に修繕が終了した。水はけも以前に比べて格段によくなった。体育館のエアコン設置の工事は、令和5年3月末から4月上旬にかけて行われる。

(4) 学校公開の感想・意見

- 上原委員 廊下での生徒のあいさつがとてもよかった。かつてはなかったようなツール（映像やPCなど）を使っている授業が多く、アクティブラーニング（話し合う・考える・発表する）を実践していると感じた。普段キャリアカウンセリングの視点を生かして仕事をしていることから、1年生の職業インタビューの展示は興味をもってすべて見た。様々な職種を年代や性別にとらわれず調べていてとてもよかった。
- 加藤委員 元小平警察少年係で仕事をしていたこともあり、生徒の様子を見ていたが、やんちゃな生徒や暴れん坊な生徒がいないと分かった。みんな前を向いて授業をしっかりと受けているが、空いている机があることが気になった。土曜日なので何か予定などあって休んでいるのか不登校なのか知りたい。
- 東海副会長 おとなしく、先生に言われたことをメモしながら授業を受けていた。消費者センターの方から、ゲーム課金やネット通販などについて注意喚起するような話を聞いて、このような学習も必要だと感じた。
- 眞部会長 1年生などは保護者が授業を見に来て緊張しているように見えた。2年生は落ち着いた中で存在感があった。教室が密になることなどを配慮して保護者の方が廊下から見るとある場面があるが、廊下で保護者の方の私語が気になる場面があった。廊下の表示で、昨年度の教室配置が書かれているものがあった。初めて来校する保護者などは、掲示されている教室と実際の教室が違っていることに混乱することもあるのではないかな。

(5) 分科会

① 地域防災 ※防災危機管理課より2名ご参加いただいた

○避難所管理運営マニュアルの作成

・避難所管理運営マニュアルの検討

前回、全12ページ分のうち2ページ分のみ検討したが、
今回はその続きとして、避難所マニュアルのP7・8の確認を行った。

・事前質問の回答（防災危機管理課へ）

☆校庭等のテント設置・・・市からの提供はなし。必要になった場合は個人所有のもので対応。

☆周辺大規模マンションからの避難・・・基本はマンション内で対応。長期化の場合は食糧支援等対応。

・第一次参集場所について 職員玄関（マニュアルに追加記載）

・自主参集の基準の確認 震度5強（小平市職員と同様）

○次回の検討事項

※自治会長等顔合わせと避難場所の見学→マンホールトイレの使い方など実際に体験することや
倉庫の中の確認など何かと組み合わせられないか？

※欠席された小林委員から提案いただいた件（5小では避難所開設の訓練をしたことを動画に残し、
QRコードで実際に見ることができるよう検討されている）についても、次回の検討事項とする。



② 学習支援

○検定推進委員会について

山田委員より検定推進委員会規約（案）の原案を提示し、その内容について検討した。

・規約の原案では、英語検定協会や漢字検定委員会から受け取ることができる会場運営費（現在は受け取っていない）を財源として、監督業務を引き受けていただいた方などに謝礼金を支払うことの是非について意見交換した。

・安心して生徒が検定試験を受けられる環境づくりを目的として検定推進委員会を運営していくことを確認した。

・学校とCSが協力してスタートしている取組を将来的には地域に広げていく。

・監督ボランティア募集の難しさなど課題をクリアするための方策などアイディアも紹介された。

③ 生徒・地域支援

I 前回の報告（今回の内容を分かりやすくするために再掲している）

・不登校など学校にフィットしない生徒を地域が支えるような場所、システム、関係性を作りたい。

・一方で、見知らぬ方からの声掛けは、声を掛ける方も掛けられる方も少し難しい。

・地域の方でも居場所を求めている人は多く、学校にそのような場所があるとありがたい。

→ 以上を踏まえて、以下のような段取りで生徒と地域の「支援」を形にしていきたい。

- ① 学校に地域の方が集まれる場所をつくる。(体育館棟の談話室が良いのではないかと考える。)
 - ② その集まりの中で、校内ですれ違えば挨拶、など、少しずつ地域と生徒の顔見知りの関係を構築する。
 - ③ その集まりの中で、学校関係のボランティア等で学校との関わりを広げていく。
 - ④ 関わりが広がった中で、中学生もその場所にいることに違和感がなくなってくれば、不登校生徒等の居場所や支援といったものに繋がってくるのではないかな。
- ＊ 談話室は狭いため、初動には適しているが、この活動が大きくなった場合には、別の場所が必要になる。けやき教室も外から入れるため、通級が行っていない曜日などで、将来的には使用できないか。

2 前回の報告を引き継ぎ

＊ 談話室の活用について

管轄の文化スポーツ課に問い合わせたところ、談話室の使用者や使用目的は、地域開放で武道場や柔道場を利用する人ためのもので、使用前後の待合室や使用中の休憩室ということで、それ以外の目的では使用できない。使用者の安全管理や責任の所在などを考えると妥当な回答かもしれない。

- 生徒・地域支援分科会のメンバーは学校の枠を超えた人が集まっている。この利点を最大限生かして、前回に検討されたような「学校に地域の方が集まれる場所」を実際にやってみよう。もともと不登校生徒が増えているという学校の課題があることから地域としてこのような場所が不安をかかえる生徒や保護者の居場所になってほしい。

☆このような場所(仮称：CSカフェ)を提供していくことの課題として

- ① 学校を使用することで教員の負担が増えるのではないかな
 - ➡CSが主体となる。あくまでも集まりやすい学校を会場とする。どのような頻度で実施するかは今後の検討となるが、CSメンバーを中心として、進めていく中で、CSカフェに参加する方が話をした内容などで学校と共有する必要があるようであれば、その方の了承を得たうえで共有するような形になればよい。CSから学校への連携。
- ② 参加しやすいカフェになるようにするにはどうしたらよいかな
 - ➡CSカフェで一緒に話をするメンバー(運営するCS委員)については、いろいろな立場で経験している人がいること(主任児童委員、元警察官、保護司、青少対会長、CSW等委員…)を周知し、「困っていることなど、ざっくばらんにお茶を飲みながら話をしてみよう」という感じにしたい。いきなり悩み相談までいなくても、まずホッと話をできる場にしたい。
- ③ 生徒や保護者など同時に参加するように成ったときに話がしにくいのではないかな
 - ➡まずは、花南中の保護者を対象としたCSカフェを試行的にやってみる。

☆以上の検討をふまえて、試行的に花南中の保護者の方を対象とした「CSカフェ」を実施してみる。
 目的：お子様が学校に行きにくいなど心配や不安を感じている保護者の方のホッとできるような場所
 候補日、場所等：11月19日(土) 10:00~11:30 花南中の教室(未定)
 案内等については、今後作成して、花南中の保護者向けに配布する。

(6) 連絡事項

- ① 花小青少対より 10月29日(土) 秋のコンサート 実施 花南中吹奏楽部演奏予定
- ② 八小青少対より 10月29日(土) みんなの音楽会 実施 さまざまな演奏
- ③ 三小青少対より 10月 1日(土) 防災体験会 実施 花南中生徒ボランティア参加
- ④ 検定推進委員会より 監督ボランティアの案内を配布して募集している。
 今後も募集を続けるので、地域の皆さんで協力してくれる人がいたら紹介してほしい。(募集案内を持ち帰って配布してほしい)
- ⑤ 八小 井口修校長 合唱を少しするようになった。(中学校の合唱コンクールを受けて)
 校舎増築工事 校庭が狭くなり使えない。運動会は三菱グラウンドで実施。
- ⑥ 花小 高橋良友校長 運動会(10月) 音楽会(11月中旬) 合奏が中心。
 校内のいたるところから楽器の演奏がきこえてくる。

【編集後記】

副会長の最後のあいさつにありましたが、回を重ねるごとに、委員の皆様同士のコミュニケーションも活発になり、討議している内容も深まっていると感じます。今年度末にどのような形になるのか今から楽しみです。
 次回、第6回学校経営協議会は11月10日(木)16:30~18:00 本校調理室にて実施します。

副校長 飛永直子